

今シーズンの北海道広葉樹仕入れ

服部商店の現在の主な取り扱い樹種は、広葉樹です。北海道産・内地産・アメリカ産と大まかに3つの産地があります。

産地の品質の話は昔から材木を扱われている方は、業者様でも、一般ユーザー様でも、真実の情報と経験が有る方の場合、承知されている方が最近までは過半数以上を占めていたと思います。しかし最近では材木屋で有っても知らない方が、半数以上を占めるようになってきている事実に対して、小生は目を瞑る事が性格上できないため、はっきり情報を公開します。

北海道産広葉樹は全ての樹種で良質材が枯渇しています。ナラ・タモ・マカバ・ザツカバ・セン・ニレ・カツラ・ホオ・クルミ・シュリ・シナ・イタヤ・メジロカバ等の主要13樹種はもう完全に良質材の安定した供給は不可能です。

なぜなのか。12月・1月・2月の旭川にて開催された広葉樹銘木市の内容を分析してご紹介いたします。

昨年の12月の市には、超久しぶりに北海道産（当麻町有林）の良質材が多数出品されていました。良質材は小生の記憶では50本ほど有りました。小生は其中で4本落札しましたが、超高値の連発に、マーケットが冷え込んでいる状況から見ると、その時は超異常に思いましたが、そうではなかったのです。これほどの良質材が将来多数出品される事は二度と来ないと、小生の大先輩（年齢は75歳）から情報を頂きました。先々二度と出品されないと解っていたら、超高値に湧き上がるのは当然のことです。この市にはナラの良質材とクルミの良質材が出品されていました。市の下見をしている時ナラ材も素晴らしいが、クルミ材の大きさはあまり大きく有りませんが中身がしっかり入っている、昨今では珍しい良質材ばかりでした。良質材は2~3本のロット材を含めて30ロット有りました。其中で1本口の良質材ばかり狙い撃ちで7本落札しました。1月と2月のクルミの原木価格の相場からは10%割安で買えたとおもいます。

12月の市は良質のナラ材とクルミ材が多数出品されていました。

今年の1月31日に開催された市には例年と同じく東京大学演習林材から、良質のマカバ材とセン材が多数出品されていました。特にマカバ材は超高値の材が多数出て会場は湧き上がっていました。静岡県の業者の方はマカバ材だけで軽く1000万円以上買われていました。

ただ小生は考える方向があり、マカバ材の入札にはあえて挑戦しませんでした。良質のセン材の仕入に傾注しました。6本落札しましたが、いずれも東京大学演習林材のヌカ目の材質のおとなしい材でした。

（1月の市で元落ちになったセン材が2月の市で2倍以上の価格で落札されていました。北海道内の物件が決まったらしいです。他社の注文が1月でなかったことを、2月の市が終了した時良かったと思いました。）セン材の原木相場は1月と2月では倍の差が有りました。

今シーズンの後半に出品されると聞いていたロシア材が150立方程度出品されていました。材質は昨年と比較するとあまり良くは有りませんでした。ナラとオークの今シーズンの情報を持っていたので、ある程度積極的に仕入れをしました。9本のロシア産ナラ材原木を仕入しました。正直この時は少し値段を出し過ぎたかと思いましたが、3月10日~3月17日の期間にアメリカにホワイトオーク原木の仕入れに出かけたのですが、上級材の仕入れはゼロでしたので、あくまで結果論ですが、決して間違ったチョイスをしなかったです。

1月の市は東京大学演習林材のセン材とロシア材が仕入れのメインでした。

2月28日に開催された市には特に目につく原木は多くありませんでしたが、伐採が大幅に制限されている日高産の緋カツラの良質材が10本程度出品されていました。このカツラ原木の産地は三石産です。元々は国有林材でしたが、三石町に払い下げられ、そして三石の業者が購入して旭川に市に出品されたと、市が終了後大先輩からお聞きしました。これだけの良質材のカツラ材は二度と出品されないとも仰っていました。小生は4本購入しました。

日本固有の樹種のホオ材の良質材が少しでは有りましたが出品されていました。6本購入しましたが他の樹種と比較すると少し人気下がっているように思いましたが、現在の服部商店の乾燥材の在庫に負けない品質の材だったので、積極的に購入しました。

2月は服部商店の大事な御客様が1年に1度北海道にいらっしゃいます。一位の結納を御作りになっている伝統工芸士の方で、10本の一位を購入して頂きました。

2月の市は日本固有の樹種カツラ・ホオとイチイがメインでした。

アメリカ仕入と情報

今年ほど特殊な年は過去に無かったと思います。アメリカ広葉樹を手がけて12年が過ぎました。商社経由を7シーズン、直接仕入れに移行して5シーズンになります。

アメリカの広葉樹原木の買い付けに対して今までと違うルートで来ました。話は昨年9月くらいに有りました。初めはどこそこを通してくれませんか？と言うので、それではやりたくないと言返すと、二つ返事で、それなら直接しましょうと先方から連絡が有りました。

ややこしいのでこの方をTさんとしましょう。

Tさんは大阪で広葉樹を扱っている老舗と商いも有り、中部地方・北海道にも取引先が有る事を承知していたので安心していたのですが、その安心感は全く180度裏切られました。

何故私に近づいて来たのかが解ったのは最近の話です。Tさんはアメリカに住まわれて30年以上になるのですが、商いが大きな赤字に陥ったのです。少しでも商いを正常にしたいと言う願望があったのでしょうか。それが11月中旬に起きる事故に繋がったのです。

小生はTさんと商いする条件を最初に挙げていました。

- 1、希望の材質でないと商いはしません。
- 2、守秘義務を守る事。
- 3、誰も介さず直接取引。

この3つの条件を守るからと言う事でTさんの話に乗って、アメリカに出かけました。しかしいきなり異常事態に巻き込まれました。シカゴに迎えに来る期間がなんと5時間遅れたのです。この時は先に起こる異常な事は想像もしていませんでしたが、悪い気分でした。

Tさんは鬱病とは多少聞いていましたが、ここまでひどい症状だとは思いませんでした。インディアナ州のホワイトビジョンのハイウエーでTさんが運転をしていたのですが、最初に左側のミラーをトレーラーの後部に接触して落としたのです。そして約1時間後ハイウエーの右斜面から滑落したのです。Tさんは居眠りをして運転していたのです。滑落する時の小生の記憶はスローモーションで白黒だった事を鮮明に覚えています。

この話はまだまだ続きは有りますが、このあたりで割愛します。今服部商店の取り組んでいるアメリカ広葉樹原木の仕入ルートに関しては、全く安心です。こんなお話しを書いたのは、

東京で木工所を経営されている社長から、1度アメリカに連れて行って欲しくないかとお話を頂いているからです。今年の12月にお連れしますと連絡はしています。

今シーズンを振り返ってみます。11月中旬に第1回目のアメリカ出張をしました。その時2か所のヤードを見てきました。どちらのヤードもホワイトオークとブラックウォールナットが有りましたが、量も少ないし品質も昨年より落ちている感じでした。Tさん事件に遭遇し気力がなえていたので従来のルートでホワイトオーク原木を1コンテナ購入するだけのエネルギーしか残っていませんでした。

12月上旬に第2回目のアメリカ出張をしました。北部・中部・アパラチア北部で4コンテナ仕入をして来ましたが、予定どおり行きませんでした。1コンテナ少ない仕入でした。

3月10日～17日の日程で初めて妻と次男を連れて北部・中部・アパラチアの南部の仕入に出かけました。予定は各所で1コンテナずつでしたが、中部での仕入れは無く2コンテナになりました。

3回の出張で相応の資金を投入しましたが、3回とも昨年とは全く違う経験をしたので服部雅章も一回り成長する為のヒントを掴んで帰って来たと思いますし、来シーズンに向けて新しい方針を作成しようと考えています。アメリカの森のお話を少し書きます。

アメリカと中国との貿易戦争の為に伐採量が激減していますが、長い目で見ればこの方が正しいと思います。アメリカ国土は広いですが、良質材の広葉樹原木の生産量は確実に激減しています。特に今年の後半、全ての樹種が超品薄状態になる可能性が有ります。と言うのはアメリカから中国向けの製材品の多くは、中間材から下の下級材がメインです。その下級材の製材品の在庫が各製材工場の倉庫に積みあがっていると、私が取引しているアメリカ最大の製材工場の日本人営業マンから聞いているからです。また日本向けが一番やりにくいとも言っていました。日本国内のマーケットは上級材しか求めていません。中間から下の材は不必要なのです。と言うことは比較的良質な原木を製材する以外に日本国内の需要に対応出来ないのです。それに反して全体の伐採量の減少は良質材の供給不足に繋がることは間違い有りません。

服部商店の在庫は一昨年買い付けた原木から製材してきた製品の乾燥が徐々に出来上がってきています。ごく一部の商品を除いて、何時もご購入頂いている御客様には全くご迷惑をかける事は有りませんし、来年度も安心して安定した商品を購入して頂けると確信しています。

集荷に3回もの多くの投資をしましたが、小生の60年のキャリアの中に長年続いてきた服部商店の伝統が有ります。良質材は初めから価値が有るのです。それは決して安く買えません。しかし、御客様はいつも高品質でリーズナブルな商品を求めてきます。

それを上手く導くのが服部商店の役目です。下記が服部商店の役割です。

- 1、要るときに木は買ってはいけない。要らない時に購入することが望ましい
- 2、必ず穴が有る。人気商品も波が有る。その穴を探るのが服部商店です。
- 3、値打ちの有る材は、値打ちで買え。安く買いすぎると価値の混同が起きる。
- 4、幅広い樹種の在庫を持つこと以外、零細企業が生き延びる道は無い。
- 5、大きな需要より多種多様な需要に対応出来れば、ライバルは減る。
- 6、産地も大事だが、二番産地で一番産地に負けない材を探せ。
- 7、自分より出来るライバルを見つけ、必ず真似をすること。

皆さまが知らないニューヨーク

世界の金融センターで有り、世界中のあらゆるエリートが集まる街がニューヨークです。

- 1、大きな地震が来ないと言われています。190年間近く地震が全く無かったそうですが、昨年震度2の地震が2度来たそうです。また震度3が来たら持たない古い建物が多い。
- 2、マンハッタンは台風も来ないそうですが、昨年大きな台風被害が有りました。
- 3、人口密度が非常に高い割に道路幅が狭く、一方通行が多い。
- 4、トランプは過去に破産しているが、税金を払わない巧妙な策を用いている。
- 5、トランプタワーは立派ですが、トランプが主催しているフェンドの持ち物で有る。
- 6、ロックフェラーセンターのビル14棟の内、バブル期に三菱が12棟取得したが現在も2棟所有している。
- 7、590ドルのお任せ寿司コースが金持ちに人気である。
- 8、60軒のラーメン屋がニューヨークで活躍している。
- 9、マンハッタンに住んでいる方の平均年収は2300万円位です。
- 10、たばこのポイ捨てが案外多い。
- 11、道路下に下水道のほか、温水の配管が通っている。
- 12、ユダヤ人が圧倒的に力を持っています。
- 13、飲食業はユダヤ人の力は少ない。
- 14、古いビルに文化的価値が有ります。新しいビルより高い価格にて売買されています。
- 15、開発禁止区域と、そうでない区域に分かれています。
- 16、マンハッタンに架かっている橋が老朽化している。
- 17、ホテルからマンションに、簡単に用途を変更している。
- 18、チップの社会ですが、そのチップは脱税しているのと同じ。
- 19、日本の不動産業の大手も大がかりな物件に投資している。
- 20、四つ星ホテルに宿泊しましたが、大した事ないと思いました。
- 21、日本の旅行会社にホテルの予約を取って頂くより現地の方が方が20%安く予約できた。
- 22、ビジネスマンの多い飲食店は案外美味しかった。
- 23、観光のカメラ撮影は日本と同じ。押し売りのカメラ撮影です。
- 24、駐車禁止の場所の罰金は110ドルと現地の日本人は言っていました。
- 25、イエロータクシーは日本車です。
- 26、雨が降るとき傘をさす習慣が少ない。
- 27、アメリカ人はトイレで自分の汚物を流さない人が大勢いる。
- 28、マンハッタン近郊は現在の日本と同じくらい治安が良い。
- 29、ニューヨークの中心部は1日に4人の死亡事故が起きている。
- 30、アメリカは軽度の飲酒は事実上取り締まりがない。

1から30まで旅行の本に多く掲載されていない情報を小生がかいつまんでご報告させて頂きました。アメリカ、特にニューヨークに行かれる方は参考にしてください